作り方の型 チェックシート

SharePointで、サイト・リスト・ライブラリ・列・ページを作るときに

半角英字の名前で作ってから、日本語の名前に変える。アドレスと内部の名前は、最初に付けた名前のまま残ります。

作るとき

☐	**サイト**	半角英字の名前で作る（例：soumu）→ 歯車の「サイト情報」で、日本語の名前（例：総務部）に変える	第1章・落とし穴①
☐	**リスト**	半角英字で作る（例：EquipmentLoan）→ リストの名前を押して開く「設定」で、日本語の名前に変える	第2章・落とし穴③
☐	**列**	半角英字で作る（例：Borrower）→ 見出しの「列の設定」→「編集」で、日本語の名前に変える	第2章
☐	**ライブラリ**	半角英字で作る（例：Regulations）→ 歯車の「ライブラリの設定」で、日本語の名前に変える	第3章・落とし穴⑥
☐	**ページ・ニュース**	英字の題名で最初に保存してから、日本語の題名に変える。テンプレートで左上の名前が「Page」のときは、最初にその「名前」を英字にする	第4章（コツ）
☐	**フォルダ**	名前がそのままアドレスになる。作る前に名前を決め、あとから変えない	第3章

作ったら確かめる

☐	**アドレス**	…/sites/英字、…/Lists/英字、…/英字（ライブラリ）になっているか。「List1」「DocLib」「%E3%81%…」は、日本語の名前で作ったしるし	落とし穴①③⑥
☐	**列の内部の名前**	歯車 →「リストの設定」→ 列の名前を押す → 開いた画面のアドレスの末尾が「Field=英字」になっているか	第2章（コツ）
☐	**タイム ゾーン**	歯車 →「サイト情報」→「すべてのサイト設定を表示」→「地域の設定」が「(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京」か	第1章・落とし穴②
☐	**ビュー**	「すべてのアイテム」を上書きしていないか。新しいビューは「ビューに名前をつけて保存」で、名前を書き換えてから保存する	第2章・落とし穴⑤

しないこと

☐	**Excelから作る**	Power Automate や Power Apps で使うリストは、Excelから作らない（内部の名前が field_1…になる）。空のリストを型どおりに作り、データは貼り付ける	第2章・落とし穴④
☐	**名前を変える**	リンクを配ったあとで、ページやフォルダの名前（アドレス）を変えない。前のアドレスでは開けなくなる	第3章・第4章
☐	**「適用」**	見出しの「列の表示/非表示」で「適用」を押すと、今のビューがそのまま書き換わる。先に「ビューに名前をつけて保存」	第3章・落とし穴⑦

右の欄は、本書の章と落とし穴の番号です。画面の名前は、2026年10月時点のものです。 本書の巻末特典｜thenextoffice.jp